

宮古市環境基本計画（令和7年度～令和12年度）の概要

1. 計画策定の目的・背景

本市の環境をめぐる社会経済情勢の変化を踏まえ、環境の保全及び創造に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、新たな計画を策定します。

世界的な動向

- ① **SDGs**（2015（平成27）年）
国連サミットにおいて採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」で SDGs（持続可能な開発目標）が掲げられる
- ② **パリ協定**（2016（平成28）年）
「気温上昇を産業革命前から2℃未満、できれば1.5℃未満に抑えること」や「今世紀後半には、人為的な温室効果ガス排出量と森林などによる吸収量のバランスをとること」が掲げられる
- ③ **気候変動に関する政府間パネル（IPCC）**（2023（令和5）年）
「第6次評価報告書」で、「地球温暖化が人為的な影響によるものであることには疑う余地がない」と明言
- ④ **昆明・モンリオール生物多様性枠組**（2023（令和5）年）
生物多様性に関する新たな世界目標として採択され、2050（令和32）年ビジョンとして「自然と共生する世界の実現」が掲げられる

日本国内の動向

- ① **2050年カーボンニュートラル**（2020（令和2）年10月）
2050（令和32）年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにし、脱炭素社会の実現を目指すことを宣言
- ② **生物多様性国家戦略**（2023（令和5）年3月）
生物多様性の保全と持続可能な利用に関する基本的な計画として、「生物多様性国家戦略2023-2030」を閣議決定
- ③ **第六次環境基本計画**（2024（令和6）年5月）
「ウェルビーイング／高い生活の質」を最上位の目的とし、循環共生型社会に向けた取り組み等を規定

本市のこれまでの取り組み

- ① 「宮古市気候非常事態宣言」（2020（令和2）年10月9日）
- ② 「ゼロカーボンシティ」表明（2020（令和2）年11月11日）
- ③ 「脱炭素先行地域」に選定（2022（令和4）年11月）
- ④ 「宮古市地球温暖化対策実行計画」策定（2024（令和6）年3月）
- ⑤ 「ゼロカーボンパーク」に登録（2024（令和6）年6月）

2. 計画期間

2025（令和7）年度～2030（令和12）年度

3. 課題の整理

分野別課題

課題① 豊かな自然環境の維持

課題② 地球温暖化への対応

課題③ ごみ排出量の削減と資源化率の向上

課題④ 良好な生活環境の維持

基盤的課題

課題⑤ 環境意識の向上

課題⑥ 環境施策を推進する体制と人材の確保

4. 環境の将来像と基本方針

宮古市総合計画で掲げている宮古市の将来像

「森・川・海」とひとが調和し共生する安らぎのまち

宮古市環境基本計画で掲げる環境の将来像

恵み豊かな自然の維持と、
循環を基調とした持続可能な社会の形成

分野別基本方針

方針① 自然環境の保全

方針② 地球温暖化対策

方針③ 循環型社会の構築

方針④ 生活環境の保全

基盤的基本方針

方針⑤ 環境意識の向上

方針⑥ 環境施策を推進する体制と人材の確保

5. 施策体系

